



**【集中講座(約3時間)】**

**英語論文受理の登竜門カバーレターとレビューワーへの応答マナー**

**日時：2018年3月7日(水) 16:00~19:00**

**【対象者】** 大学院生または大学院生や後輩を指導する立場にある教員の方。最近のトレンドに関する内容はベテランの方にも有益な情報です。

**【目的】** 英語論文が受理されるかどうかの登竜門であるジャーナル・エディターやレビューワーとのコミュニケーションについて注意点を踏まえながら学びます。論文投稿用のカバーレターの作成とエディターやレビューワーとのコミュニケーションはちょっとした一言で運命が分かれかねない非常に気を遣う最後のステップですから万全の予備知識を備えて皆様がチャンスを逃さないようにします。

まず、最初の投稿に必要なカバーレターの悪い例を見て改善点を考えた後、少しでもエディターやレビューワーに好印象が与えられる表現や注意すべきポイントを学びます。次に再投稿に必要なカバーレターの書き方を難しいレビューワーへの対応の仕方と共にポイントを押さえます。

英語論文における受動態のトレンドは時代と共に進化しています。ジャーナル・エディターの声を交えて最近のトレンドを学びより適切な受動態の活用法を学びます。また、最初に目につくタイトルやアブストラクトでマイナスな印象を与えてしまうとチャンスを逃しかねません。動詞の使い方を工夫し、多くの研究の中でも輝く効果的なタイトル、キーワード、アブストラクトを書くコツまた、インターネットでより検索されやすいようにするテクニックを学びます。その後、どの研究者も知っておかなければならない論文執筆に役立つコロン、カンマ、セミコロン、カッコの使い方を学びます。また、学んだテクニックが **Nature Medicine, Lancet, New England Journal of Medicine, JAMA, BMJ** などのトップ医学系ジャーナルのみでどのように活用されているか確認した後、実際にテクニックが自分のものになったかどうか実践問題を解いて締めくくります。

16:00~16:05	5分	開会のご挨拶
16:05~16:35	30分	講義1：効果的な論文投稿のカバーレターの書き方：初投稿の場合
16:35~16:55	20分	講義2：再投稿用のカバーレターの書き方とレビューワーとの応答時の注意点
16:55~17:15	20分	講義3：最近の受動態のトレンド
17:15~17:25	10分	実践練習とデモンストレーション
17:25~17:40	15分	15分休憩
17:40~18:00	20分	講義4：賢いタイトルとアブストラクトでチャンスをつかもう！
18:00~18:10	10分	デモンストレーション
18:10~18:30	20分	講義5：パンクチュエーション（コロン、セミコロンなどの使い方）
18:30~18:50	20分	実践練習
18:50~19:00	10分	質疑応答 閉会のご挨拶・アンケートのご記入

※スケジュールは進行状況により、変更する場合がございます。